

市が進める「筑後小郡インター周辺まちづくり構想」の核となる
大型商業施設の誘致に関する決議

小郡市は、九州自動車道、大分自動車道、西鉄大牟田線、甘木鉄道の結節点として高い交通利便性を有している。

一方、小郡市の中央を南北に流れる宝満川の左岸地域は、従来、農業地域として発展してきたが、農業従事者の高齢化・後継者不足、農業経営の厳しさから、年々農業人口は減少している。それに伴い、地域人口も減少しており、特に小中学校の児童生徒減は著しく、地域の将来を心配する声が多く聞かれる。

このため、特に筑後小郡インター周辺の立石地区においては、県道久留米筑紫野線沿線に新たな企業誘致がなされている。しかし、現在の土地利用計画では、主に物流関係企業となっているため、雇用や人口増の効果は少ない。

このたび、小郡市は小郡市都市計画マスタープランの改定を行うにあたり、筑後小郡インター周辺まちづくり構想を策定し、今後の立石地区の将来像を示していく予定である。

この構想に基づき、市は筑後小郡インター周辺全体の活性化、人口維持等を目指しており、その一環として、新たな魅力創出ゾーンが位置付けられている。

このような状況下、この地の優位性に着目・評価し、大型商業施設が進出意欲を示している。このことに鑑み、すでに協定を締結している小郡市とともに、市議会としてもこの機をとらえ、誘致の意思を強く示すものである。

なお、進出に伴う市内既存商業の活性化と融和、共存に努め、予想される交通渋滞、浸水など周辺的环境対策にも配慮し、大型商業施設の誘致を求めるものである。

以上、決議する。

令和5年3月20日

福岡県小郡市議会